

# 首都圏における日米「安保条約」

## =軍事同盟の実態

### 進む在日アメリカ軍基地の機能強化と 自衛隊との統合

木元茂夫さん講演報告

9月1日、名古屋市の名古屋 YWCA ビッグスペースで「首都圏における日米軍事同盟の現実」と題して神奈川県から木本茂夫さん（すべての基地に NO！を・ファイト神奈川）を招いた講演集会を行いました。首都圏におけるアメリカ軍基地の一つ、米海軍横須賀基地はアメリカ国外で唯一空母の母港で、旗艦「ブルーリッジ」原子力空母「ロナルドレーガン」など 13 隻を有しています。2015 年の戦争法成立以来自衛隊の「米艦防護」などの共同訓練もさらに積み重ねています。

首都圏を環状に結ぶ国道 16 号線沿いには厚木基地、キャンプ座間があり、オスプレイ配備が始まった横田基地などが存在します。首都圏における在日アメリカ軍と自衛隊の実態について木本さんの講演を報告します。

#### はじめに

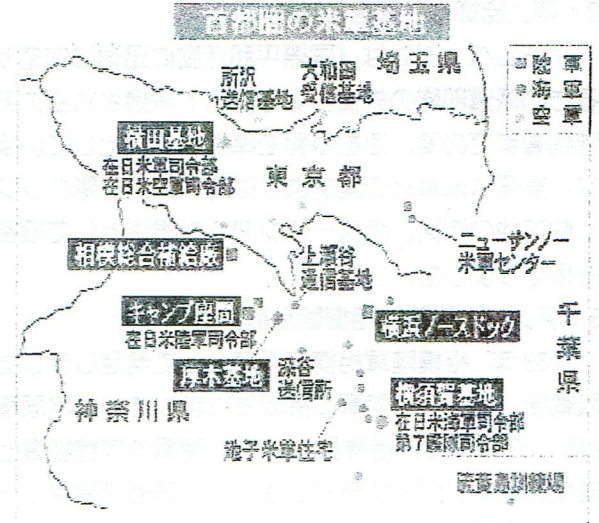
「首都圏にはアメリカ軍の陸海空 3 軍の司令部が置かれています。どうしてそういうことになったのか」というと国道 16 号線の沿線にかつて日本の軍部が造った基地がありました。陸軍の拠点にするため日中戦争が始まる前に次々に造っていきました。そうしたかつての日本軍の基地をアメリカ軍が戦後、接收して現在に至るわけです。」

#### 自己紹介

「私は『すべての基地に NO を・ファイト神奈川』というグループに所属しています。1995 年、沖縄で少女暴行事件があった年に結成されました。神奈川県下で反基地運動をやっている人々が集まって沖縄に負けない反基地運動をつくろうということで結成しました。」

#### 1: キャンプ座間

「神奈川県座間市と相模原市にまたがる 234 ヘクタールの面積を有する基地です。1937 年日中戦争開戦後、東京から陸軍士官学校が移転して建設されたのが最初。朝鮮戦争の時に在日兵站司令部が横浜税関ビル（横浜商工会議所が事務所を構え、特需の調



達を支えていた) から移転して現在に至ります。」

2007 年 12 月に第 1 軍団前方司令部が発足しました。前年の 2006 年の時には兵員約 590 人、軍属役 560 人が存在したが若干の増員があったと思われます。2007 年に朝霞駐屯地で編成された陸上自衛隊中央即応集団司令部は 2013 年に座間分屯地に移転したため座間分屯地は座間駐屯地に格上げとなった。

しかし 2018 年 3 月、わずか 5 年で解体し朝霞駐屯地に陸上総隊司令部が発足し中央即応集団の隷下部隊はすべてこの指揮下に入った。座間駐屯地には『日米共同部』が置かれ日米合わせて 70 名ほどの隊員が配置されています。

2005 年、キャンプ座間の機能強化と第 1 軍団発足のための在日米軍再編協議時には相模原市に来た額賀防衛庁長官に対して当時の小川市長は『戦車が来ても阻止する』言い切り、座間市の星野市長も『ミサイルを撃ち込まれても阻止する』と反基地集会で発言した。反対署名には座間市が市として取り組み、相模原市は『もう 60 年も基地の街、黙っていたら 100 年先も基地の街』というスローガンを掲げて抗議し、米軍再編交付金の対象から外されても反対姿勢を崩さず、第 1 軍団司令部の発足式にも両市長は欠席した。アフガン・イラク戦争の泥沼化で第 1 軍団を日本に置く余裕を失って行ったのです。

それとは対極的に自衛隊とアメリカ軍との訓練は日本国内とアメリカ国内に拡大し、その内容は『島嶼防衛』といいながら海上からの兵力投入能力の向上に重点が置かれています。また訓練の全国への拡大に『沖縄の負担軽減』が口実に使われている現実があります。」

## 2: 陸上自衛隊宇都宮駐屯地

ホームページには『国際平和活動に迅速に対応するため派遣部隊の先遣部隊等として派遣され主力部隊到着までの間、活動基盤を準備する』としています。実際は米軍との連携よりは海賊対処部隊のジブチ駐屯地の防衛、南スーダン PKO 先遣隊として役割を果たしました。

## 3: アメリカ陸軍 相模総合補給廠

1938年、相模陸軍相模造兵廠として発足しました。敗戦後、アメリカ陸軍に接收されました。土地面積215ヘクタール。従業員600名。陸軍の補給物資と架橋セット、パイプラインセット、野戦病院セットなどが保管されています。2014年には17ヘクタールの土地が変換されましたが、一方で敷地内に新しい倉庫が建ちました。

## 4: 横浜ノースドック

米軍と自衛隊の物資搬出と搬入を行います。2018年4月3日にはオスプレイが陸揚げされました。

## 5: 横須賀基地

7月23日、横須賀基地にある弾薬庫の隣の倉庫が火事になりました。かなり近い距離にあり飛び火すれば危ないところでした。また近くの海上自衛隊比与宇補給所をミサイル防衛用の弾薬庫に建て替える計画が進行しています。私たちは横須賀市長にこれに同意しないよう訴えています。

## 6: 厚木基地

507ヘクタールの土地と2438メートルの滑走路を持つ神奈川県最大の基地です。1941年帝都防衛海軍基地として発足しました。現在はアメリカ海軍と自衛隊が共同使用しています。

P-1哨戒機が17機、配備されており津軽海峡や対馬海峡の中国艦船の監視にも出動しています。航空集団司令部、航空自衛隊の全航空部隊を指揮しています。

## 7: 横田基地

在日アメリカ軍司令部、第5空軍司令部、第374空輸航空団があり、軍人3600人、軍属700名がいます。714ヘクタールの土地面積で東京都の5市1町にまたがる首都圏最大の基地です。2005年の在日米軍再編協議で、共同統合運用調整所を設置し、自衛隊とアメリカ軍の相互運用の確保をめざし、日本の航空自衛隊航空総隊と第5空軍司令部を併置し情報の共有と連携を強めるとしています。」



## 地球規模攻撃軍団 略称 AFGSC が空自と訓練

2009年にはアメリカ軍が『地球規模攻撃軍団』なる部隊を編成し、アメリカ本国からグアム島を経由して日本にきて2017年から航空自衛隊と共同訓練を行っています。また同年、12月12日にはアメリカ空軍、海兵隊、自衛隊が沖縄周辺空域で共同訓練を行い、米朝首脳会談の直後の2018年7月27日は日本海空域で日米共同訓練が行われました。こんなことをしているようではアジアからは信用されません。

## 8: 航空自衛隊入間基地

埼玉県の入間市と狭山市をまたがる土地にあり、横田基地とはかなり近いです。1938年日本陸軍航空士官学校として発足しました。中部航空方面隊司令部、航空支援集団輸送航空隊が置かれC-1輸送機、U4多用途支援機などが配備されています。滑走路は2000メートルです。入間基地には4年後には、自衛隊医療＝『第一線救護』の訓練拠点をされようとしており2018年から病院や施設などの建設工事が始まっています。

## 9: 陸上自衛隊木更津駐屯地

第1ヘリコプター団が配置され、オスプレイの整備のための拠点をされています。2017年にはじまった最初のオスプレイの整備1号機はいまだに完了していません。

## 感想

首都圏、本土の米軍基地の実態が具体的にわかる講演内容でした。今、沖縄でも辺野古新基地建設に反対する闘いが大きく高揚しています。この闘いに連帯するためにも、まずは自分たちがすんでいる本土における米軍基地についてしっかり見据えないと真の沖縄連帯はできないと思いました。本土でも「オール沖縄」のように「基地はいらないオール日本」みたいな運動をつくりましょう。